

会員業績一覧

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

会員の記載は五十音順(自己申告に基づいて作成)

石山 宏 (山梨県立大学教授)

『27業種別 簿記・会計の処理と表示』(共著)(小野正芳編著)中央経済社, 2021年11月。
『検定簿記講義/2級商業簿記<2022年度版>』(共著)(渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著)2022年3月。
『検定簿記ワークブック/2級商業簿記<検定版第8版>』(共著)(渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著)2022年3月。

市川 紀子 (駿河台大学教授)

「第3章 地方外郭団体の簿記—地方三公社—」『非営利組織体の簿記に関する研究』(日本簿記学会 簿記実務研究部会(主査:小野正芳)最終報告書), 2021年8月。
「第4章 法人間の比較分析:農業協同組合・医療法人・地方外郭団体(三公社)」(共著)(日本簿記学会 簿記実務研究部会(主査:小野正芳)最終報告書), 2021年8月。
「地域創生における森林相続と管理(1)」(研究ノート)『駿河台経済論集』第31巻第1号, 2021年9月。
「医薬品業の会計」小野正芳編著『27業種別 簿記・会計の処理と表示』中央経済社, 2021年11月。
「我が国の収益認識会計基準における会計処理—試論の提言—」(共著)『簿記研究』第4巻第2号, 2021年12月。
「地域創生のための会計の研究—埼玉県の森林管理・鉄道事業・投資ファンドを中心に—」(共著)(研究ノート)『駿河台大学地域研究』第3号, 2022年1月。
『ビジネスセンスが身につく簿記 第2版』(共著)(成川正晃編著)中央経済社, 2022年2月。
「収益認識会計基準におけるコメントレターの捉え方」『会計』第201巻第3号, 2022年3月。
「地域創生における森林相続と管理(2)」(研究ノート)『駿河台経済論集』第31巻第2号, 2022年3月。
「会計にどんな資格があるのか—会計とキャリア教育—」上野清貴・小野正芳編著『スタートアップ会計学 第3版』同文館出版, 2022年3月。

伊藤 和憲 (専修大学教授)

「日本企業の統合報告書の比較研究」『専修商学論集』第113号, 2021年7月。
「上總康行編著『コマツのダントツ経営—SVM管理と管理会計改革—』」(書評)『産業経理』第81巻2号, 2021年7月。
『価値共創のための統合報告—情報開示から情報利用へ—』同文館出版, 2021年7月。
A Comparative Study of Integrated Thinking, Information Connectivity, and Value Creation Based on Integrated Reports of Japanese Companies, *Journal of Human and Sustainability Studies*, 2021年9月9日。
『医療機関のマネジメント・システム』(編著)牧誠財団研究叢書, 2021年12月。

井上 行忠 (嘉悦大学教授)

「税効果会計に適用される法定実効税率の一考察」『嘉悦大学研究論集』第63巻第2号, 2021年3月。
「税効果会計における財務諸表の注記事項の一考察」『嘉悦大学研究論集』第64巻第2号, 2022年3月。

岩崎 勇 (大阪商業大学教授)

『AI時代に複式簿記は終焉するか』(編著)税務経理協会, 2021年2月。
「簿記の意義と特徴」岩崎勇編著『AI時代に複式簿記は終焉するか』税務経理協会, 2021年2月。
「手書会計とコンピュータ会計との差異」岩崎勇編著『AI時代に複式簿記は終焉するか』税務経理協会, 2021

年2月。

「コンピュータ会計化に伴う複式簿記の変容」岩崎勇編著『AI時代に複式簿記は終焉するか』税務経理協会、2021年2月。

岡本 紀明 (立教大学教授・London School of Economics and Political Science (LSE) 客員研究員：2023年3月迄)

Financialisation in the Context of Cross-shareholding in Japan: The Performative Pursuit of Better Corporate Governance, *Journal of Management and Governance*, forthcoming (online first), 2022年1月。

「会計制度に対する社会学的研究アプローチと社会的存在論の意義－伝統的会計利益に対するインパクト加重会計に着目して－」『社会関連会計研究』第33号、2021年12月。

「知的資本を中心とした非財務情報に対するアプローチの変化－研究者の問題意識を題材として－ (付馨との共著)」『日本知的資産経営学会誌』第7号、2021年12月。

「第2章 わが国における金融化の遂行と会計規制としての制度的装置－持合株式に対する認識・測定から開示へのシフト－」『日本の会計諸制度の変遷と課題』(国際会計研究学会研究グループ (主査：角ヶ谷典幸) 中間報告書)、2021年10月。

長田 美悠子 (中央学院大学准教授)

「企業グループの構造分析とガバナンス問題の別袂－企業グループ・ガバナンスの前梯的考察－」『商経論叢』第36巻第1・2合併号、2022年3月。

「企業グループの事業多角化の限度画定－企業グループにおけるキャパシティ限度へのアプローチ－」『商経論叢』第36巻第1・2合併号、2022年3月。

越智 信仁 (関東学院大学教授)

「監査保証論に基づいた書面添付制度の考察」『会計』第200巻第2号、2021年8月。

「ESG評価におけるAIの活用事例」日本会計研究学会スタディ・グループ『AI技術の活用によるESG情報の評価に関する研究 (中間報告書)』(共著)第4章に所収、2021年9月。

「SDGs / ESGと会計学の行方」『環境金融ブログ』<https://rief.jp.org/blog/119902?ctid=33>, 2021年11月。

「SDGs時代の社会的評価指標開発への挑戦；AI活用とESG評価の視点より (要約)」(共著)『社会関連会計研究』第33号、2021年12月。

「統合報告の現代的意義と残された課題」『青山アカウンティング・レビュー』第11号、2022年1月。

『非営用語辞典』(分担執筆)(非営利法人研究会編) 全国法人協会、2022年3月。

小野 正芳 (日本大学教授)

『日本簿記学会簿記実務研究部会最終報告書：非営利組織体の簿記に関する研究』(編著) 日本簿記学会、2021年8月。

「基本金が維持するもの」『産業経理』第81巻第3号、44-53頁、2021年10月。

『27業種別 簿記・会計の処理と表示』(編著) 中央経済社、2021年11月。

「わが国の収益認識会計基準における会計処理－試論の提言－」(共著)『簿記研究』第4巻第2号、2021年12月。

「地域創生のための会計の研究－埼玉県の森林管理・鉄道事業・投資ファンドを中心に－」(共著)(研究ノート)『駿河台大学地域研究』第3号、2022年1月。

金子 友裕 (東洋大学教授)

「時価の算定に関する会計基準」における「時価」の検討」『産業経理』81巻1号、2021年4月。

「消費税法における仕入税額控除の考察」『税法学』585号, 2021年5月。
「役員給与における不相当に高額な部分の検討」『租税訴訟』14号, 2021年6月。
「インセンティブ報酬の会計と税務」『税務会計研究』32号, 2021年7月。
「山浦久司編著『地方公共団体の公会計制度改革—その導入, 運用および利活用の状況に関する調査と研究—』(書評)『産業経理』81巻3号, 2021年10月。
『27業種別簿記・会計の処理と表示』(共著)(小野正芳編著)中央経済社, 2021年11月。
「剰余金の配当」『税務事例研究』184号, 2021年11月。
「インセンティブ報酬の定義と検討の視座」『インセンティブ報酬の会計と税務』(税務会計研究学会, 特別委員会, 最終報告書)2021年11月。
『課税所得計算の形成と展開』(編著)中央経済社, 2022年3月。
『法人税法入門講義(第6版)』(単著)中央経済社, 2022年3月。

金子 善行(帝京大学准教授)

「法人税法におけるライセンス課税の問題点—借地権課税との対比を通じて—」『産業経理』第81巻第1号, 2021年4月。
『エッセンス簿記会計(第17版)』(共著)(新田忠誓編著)森山書店, 2021年4月。
『会计学・簿記入門(第16版)』(共著)白桃書房, 2021年4月。
「公正処理基準の解釈と更正の請求の可否—TFK事件とクラヴィス事件の検討—」『會計』第200巻第4号, 2021年10月。

椛田 龍三(専修大学教授)

「経済の金融化と新概念フレームワーク(2010年)の関係」『専修商学論集』第113号, 2021年7月。
「FASB概念フレームワーク第1号と第2号の再調査—accountabilityとstewardshipの相互関係—」『會計』第200巻第2号, 2021年8月。
「会計目的・質的特性と測定・開示の関係」『専修商学論集』第114号, 2022年1月。
「IASB/FASB概念フレームワーク(2010年)の設定過程の分析—内部ロビイング, メンバーの人事異動および二重規制システムに関係づけて—」『会計学研究』第48号, 専修大学会計学研究所, 2022年3月。

菊谷 正人(法政大学名誉教授)

『中小企業の節税へのヒント—使える『税務の特例』を教えます—』(監修)中央経済社, 2021年4月。
「会計余話: 会計用語の適正化」『産業経理』第81巻第1号, 2021年4月。
「わが国における資産会計の国際的収斂(1)」『経営志林』第58巻第2号, 2021年7月。
「わが国における資産会計の国際的収斂(2)」『経営志林』第58巻第3号, 2021年10月。
「有形固定資産の『時価・時価低価法』と『時価減価償却』」『産業経理』第81巻第3号, 2021年10月。
「デジタル課税の国際的展開—OECD「BEPS包摂的枠組」の成果—」『経営志林』第58巻第4号, 2022年1月。
「最低法人税率の全世界的導入—OECD「BEPS包摂的枠組」の成果—」『イノベーション・マネジメント』第19号, 2022年3月。

柯 瓊鳳(東呉大会計学科准教授)

Impacts of Moving to IFRS: Taiwan Experience, *Journal of Global Accounting Research* Vol. 2 (『グローバル会計研究』第2号), Global Accounting Association, (グローバル会計学会), 2021年3月。
「以審計部專案審計報告分析政府部門内部控制之缺失態樣」, 『主計月刊』, 782, 110年2月。(日本語, 「監査報告書による政府部門内部統制の不備に関する分析」(林明秋との共著)『主計月刊』第782巻, 2021年2月。)

『數位貨幣 - 從傳統到創新, 從國際到台灣』, 台北: 五南圖書出版公司, 2021 年 9 月。(日本語, 『デジタル通貨 - 伝統から革新へ, 国際から台湾へ』(王儷容, 沈大白, 劉湘國, 蕭惠元, 李儀坤, 蘇哲緯との共著) 五南圖書出版社, 2021 年 9 月。)

『會計學』第六版, 台北: 新陸書局, 2021 年 10 月。(日本語, 『會計学』(馬君梅等との共著) 新陸書店, 2021 年 10 月。)

『實用會計學概要』, 第六版, 台北: 新陸書局, 2021 年 10 月。(日本語, 『実務会計入門』(馬君梅等との共著) 新陸書店, 2021 年 10 月。)

「RPA 應用於會計實務之研究: 交易處理, 技術轉型與內部控制」, 2021 當代會計研討會, 台北, 110 年 4 月 24 日。(日本語, 「RPA の会計実務に関する研究: 仕訳処理, テクノロジー変革, 及び内部統制」(曾秀娟との共同発表) 2021 現代会計シンポジウム, 2021 年 4 月 24 日。)

古賀 智敏 (東海学園大学教授・神戸大学名誉教授)

「知的資産経営研究とともに - 20 年のあゆみ -」『日本知的資産経営学会誌』千倉書房, 第 7 号, 2021 年 12 月。

『SDGs 価値創造社会と企業レポート - 多様性価値時代における企業, 人間, 社会の調和と統合報告 -』(報告書), 2022 年 2 月。

坂内 慧 (帝京大学助教)

『エッセンス簿記会計 (第 17 版)』(共著) (新田忠誓編著) 森山書店, 2021 年 4 月。

『会計学・簿記入門 (第 16 版)』(共著) 白桃書房, 2021 年 4 月。

島本 克彦 (大阪経済法科大学教授)

「簿記の歴史 - 勘定理論の変遷」岩崎勇編著『AI 時代に複式簿記は終焉するか』税務経理協会, 2021 年 3 月。

「複式簿記の 2 面性」岩崎勇部会長編著『AI 時代のコンピュータ会計と簿記 - 最終報告書 -』日本簿記学会簿記理論研究部会, 2021 年 8 月。

「リース業の会計」小野正芳編著『27 業種別 簿記・会計の処理と表示』中央経済社, 2021 年 11 月。

塚原 慎 (駒澤大学講師)

『エッセンス簿記会計 (第 17 版)』(共著) (新田忠誓編著) 森山書店, 2021 年 4 月。

『会計学・簿記入門第 (16 版)』(共著) 白桃書房, 2021 年 4 月。

「経営者の自信過剰が利益平準化に及ぼす影響」(共著)『Working paper, Management Innovation Research Center, School of Business Administration, Hitotsubashi University Business School』第 244 号, 2021 年 8 月。

「経営者の自信過剰 (Overconfidence) と財務報告に関する論点整理」(共著)『千葉商大論叢』第 59 巻第 2 号, 2021 年 11 月。

長濱 照美 (福山大学助教)

「情報セットアプローチの萌芽と継承に関する研究」『年報財務管理研究』第 32 号, 2021 年 5 月。

「情報セットアプローチと「情報のセット」の相違に関する研究」『福山大学経済学論集』第 46 巻, 2022 年 3 月。

「情報セットアプローチの萌芽と継承に関する研究 - 1975 年英国『コーポレート・レポート』から 2018 年版 IASB 概念フレームワークまでを題材に -」(博士論文; 広島大学) 2022 年 3 月。

中村 亮介 (筑波大学准教授)

『エッセンス簿記会計 (第 17 版)』(共著) (新田忠誓編著) 森山書店, 2021 年 4 月。

『会計学・簿記入門（第16版）』（共著）白桃書房，2021年4月。
「日本企業の報酬契約のシフトと債務契約のデザイン」『會計』第200巻第3号，2021年9月。
How Do Bank Lenders Use Borrowers' Financial Statements? Evidence from a Survey of Japanese Banks（共著）CARF Working Paper F-522. 2021年11月。
『全商会計実務検定試験テキスト財務諸表分析（十一訂版）』（共著）（新田忠誓監修）実教出版，2022年3月。

西山 一弘（帝京大学准教授）

『エッセンス簿記会計（第17版）』（共著）（新田忠誓編著）森山書店，2021年4月。
『会計学・簿記入門（第16版）』（共著）白桃書房，2021年4月。

藤井 秀樹（京都大学名誉教授・金沢学院大学教授）

「地方創生における地域資源開発の現状と可能性－岡崎市の挑戦と課題－」（今枝千樹氏との共著）『地域活性化研究』第20号，2021年8月。
「会計基準が国際化－変わる経営と市場－」『北國 TODAY』Vol.104-2，2021年秋号。
「新たな価値観を大きく育てるには－経済的効率性と社会的公正性の深まる分裂のはざままで－」統一論題「ポスト・コロナにおける新たな社会と会計」レスポンスペーパー，『会計理論学会年報』No.35，2021年7月。
「連単分離と Plan Comptable Gégéral－フランスにおける IFRS 採用の現状－」『いま、フランス会計を研究する意義－国外での協調性と国内での秩序性との均衡－』国際会計研究学会研究グループ最終報告書，2021年10月。
「任意著『現代監査規範の転換点－20世紀アメリカ会計監査史の一断面－』（同文館出版）」（書評）『産業経理』第81巻第4号，2022年1月。
「ユニバーサルサービスの経済理論と制度設計－郵政事業に寄せた論点整理－」『金沢学院大学紀要』第20号，2022年3月。
「論壇・公益法人の目的合理性と価値合理性」『公益・一般法人』No.1046，2022年3月。

古庄 修（日本大学教授）

「カーボン報告の義務化拡大と英国チャリティの対応」『公益・一般法人』第1030号，2021年6月。
「COVID-19と代替的業績指標（APM）の開示規制」『ディスクロージャー & IR』第18巻，2021年8月。
「代替的業績指標に係る COVID-19 の影響と制度的対応」『會計』第200巻第4号，2021年10月。
「島永和幸著『人的資本の会計－認識・測定・開示－』同文館出版」（書評）『企業会計』第73巻第10号，2021年10月。
「「ウェルビーイング」を志向する小売業経営」『販売士』第44号，2022年3月。
「チャリティ法」・「非営利制度（英）」・「ディスクロージャー」（公社）非営利法人研究会編『非営利用語辞典』全国公益法人協会，2022年3月。

松下 真也（京都産業大学准教授）

『会計学・簿記入門（第16版）』（共著）白桃書房，2021年4月。

溝上 達也（松山大学教授）

『会計学・簿記入門（第16版）』（共著）白桃書房，2021年4月。
「英国鉄道会社における資金会計の萌芽」『會計』第200巻第1号，2021年7月。
「株式会社における会計報告の形成」『松山大学論集』第33巻第5号，2021年12月。

『エッセンス簿記会計（第17版）』（共著）（新田忠誓編著）森山書店，2021年4月。

『会計学・簿記入門（第16版）』（共著）白桃書房，2021年4月。

「第16章 地方自治体の簿記―「地方公会計マニュアル」の分析―」『非営利組織体の簿記に関する研究』（日本簿記学会簿記実務研究部会（主査：小野正芳）最終報告書），2021年8月。

「第18章 取引要素の結合関係の比較分析―非営利組織体における取引要素の結合関係の諸相―」『非営利組織体の簿記に関する研究』（日本簿記学会簿記実務研究部会（主査：小野正芳）最終報告書），2021年8月。

「わが国の複式簿記形成期における簿記教科書の分析（5）―東夷五郎『新案詳解 商業簿記』にみる会計帳簿論―」『商学論纂』第63巻第1・2号，2021年9月。

「契約会計の観点から考える収益認識会計基準の簿記処理」『産業経理』第81巻第3号，2021年10月。

「鉄道業の会計」小野正芳編著『27業種別 簿記・会計の処理と表示』中央経済社，2021年11月。

「収益認識に関する会計基準と簿記処理」『簿記研究』第4巻第2号，2021年12月。

「地域創生のための会計の研究―埼玉県の森林管理・鉄道事業・投資ファンドを中心に―」（共著）（研究ノート）『駿河台大学地域研究』第3号，2022年1月。

「米国政府会計における財務諸表の構成要素の認識」『會計』第201巻第3号，2022年3月。